

す

く

す

く

95号



2026年度 第2号 2026. 7. 1 発行

東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 岡尾 良一

梅雨の晴れ間に夏の訪れを感じる季節となりました。院庭からはプールで遊ぶ子どもたちの元気な声が響いてきます。この春に新しく仲間となった職員たちも、子どもたちの笑顔に元気をもらいながら、先輩職員とともに乳児院の活動に一生懸命取り組んでいます。

また、今年度はボランティアの皆さまの活動について、うれしいご報告があります。これまでの温かいご支援をさらに広げ、子どもたちと直接触れ合っていただく機会を充実させることで、日々の生活体験がより豊かなものとなるよう取り組みを進めております。地域の皆さまのお力添えが、子どもたちとの安心と健やかな育ちを支えてくださっていることに心より感謝申し上げます。

引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副院長 石田 晃代



理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。
（「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉を差し伸べることです）

基 本 方 針

「子どもニーズ 子どもファースト」

私たちは、常に子どものことを第一に考え、子どもの目線に立ち、
子どもの気持ちの代弁者として実践し、一人ひとりの子どもの最善の利益を追求していきます。

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てていきます。
3. 感動や成功体験を通し、子どもの自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。



こいのぼり会

5月にこいのぼり会を開催しました。普段とは違う雰囲気に会が始まる前から緊張している子どもたちでしたが、会が始まると次第に表情がやわらぎ笑顔で参加していました。天井に飾られたこいのぼりや壁に貼ってある兜を見て「おさかなさん!」「あれぼうしかな?」という職員との楽しそうな会話が聞こえました。おやつもお天気の中、1階院庭で食べることができ、子どもたちにとって特別な経験ができた1日になりました。



保育士 世良 郁



春の遠足

5月上旬にバスに乗ってこどもの国へ遠足に行きました。いつもと違う場所に少し緊張した様子も見られましたが、遊具を見つけると笑顔で元気いっぱいに遊んでいました。外の心地良い風に吹かれながらゆったりとお昼寝もしました。午後は、牧場で牛や羊への餌やりを体験しました。自分より大きな動物にも怖がることなく興味津々な様子で、手を伸ばしていました。初めての体験がたくさんあり、笑顔溢れる楽しい遠足になりました。



保育士 松谷 智理子



苗植え

4月上旬に野菜の種まきと苗植えを行いました。お昼寝から目覚めると、今か今かと心待ちにしていた子どもたち。好きな野菜を選べると、小さな種を扱うのは少し難しい様子もありましたが、じっと見つめながら指先でそっとつまみ、土の上へ時間をかけて落としていきました。土のお布団をかけると「とんとんぱたぱ」とスコップで優しく整え、日々の水やりでも「おおきくなーれ!」と優しく声をかけています。すくすく元気に育ち、みんなで食べられる日が楽しみです。



保育士 藤本 凛



子どもたちの日々のエピソードをお届けします！



Aホーム

パン屋さんでお買い物体験をしました。Aちゃんは「このパンがいいかな？」とたくさん悩んで自分の好きなパンを買っていました。買ったパンはお部屋に戻ってみんなで美味しく食べました。初めて行く場所で緊張していましたが、楽しくお買い物できました。

保育士 國府田 柊真



Bホーム

自動販売機で購入体験をしました。BちゃんもCちゃんもオレンジジュースを購入し終わると「同じだね！」と言って喜んでいました。頬にジュースを当てて「冷たい！」と嬉しそうな表情を浮かべながら自分で購入したジュースを大切に持ち、お部屋でお友だちと一緒に楽しく飲みました。

保育士 和泉 花穂



乳児



乳児のお部屋では、最近寝返りができるようになった子、ハイハイやつかまり立ち、つたい歩きができるようになった子がいます。ますます動きが活発になり、毎日元気いっぱい過ごしている子どもたちの成長に喜びを感じています。

保育士 新井 咲菜





新入職員紹介

子どもたちの笑顔や成長を大切にしながら安心して過ごせる存在になれるように頑張ります。



保育士

子どもたちの笑顔を大切に、日々学びながら成長できる職員を目指して頑張ります。

子どもたちと過ごす時間を大切に、たくさん笑い合いながら頑張ります。

食事を通して子どもたちにたくさんの笑顔とおいしさを届けられるように頑張ります。



栄養管理室

食べる楽しさを伝えながら、子どもたち一人ひとりに寄り添った支援ができるよう努めています。

美味しい食事と豊かな食経験を提供し、子どもたちの成長と発達のサポートができるよう頑張ります。

子どもたちが毎日楽しく健康に成長できるよう、日々の小さな変化に目を向けながら誠心誠意頑張ります。



看護師

子どもたち一人ひとりがいきいきと過ごし、育っていけるよう、子ども第一の環境づくりに努めています。



ショートステイ事業紹介

当院の乳幼児ショートステイ事業は、港区・品川区・大田区在住の生後5日～2歳未満のお子様(港区は1歳未満)を対象に、1泊から6泊までご利用可能です。保護者の入院や心身の不調、ご家族の看護・介護、お仕事やリフレッシュなど、子育てのサポートが必要な際にご利用いただけます。乳児院内のショートステイ専用のお部屋で、保育士や看護師、支援員、管理栄養士などの専門職が連携し、お子様一人ひとりに合わせて安心して過ごせるよう支援しています。利用されたご家庭からは「ゆっくり休むことができた」「また利用したい」といった声も寄せられており、お子様の成長を保護者の皆様と一緒に見守れることを私たちも嬉しく感じています。

【0～3 歳児の育児にお困りの方へ】

当院では育児相談を平日 9～16 時に受け付けています。 担当 看護師長 澤田

【寄付金について】

当院では子どもたちの養育環境整備のため寄付金を募っています。 担当 事務 竹田
上記について詳しくは右記までご連絡ください。 Tel 03-3451-8289 (直通)



ホームページ
QRコード

「すくすく 第95号」2026.7.1 発行

〈発行人〉岡尾 良一 〈編集委員〉峯越 雅子 五味 亜紀子 植田 美月 新井 咲菜